

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際科学技術交流等		担当部署	科学技術・学術政策局		作成責任者	国際交流官 匂坂克久	
事業開始・終了(予定)年度	昭和35年度・平成22年度		担当課室	国際交流官付				
会計区分	一般会計		施策名	VII-5. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 各種科学技術協力協定(平成22年6月時点で51の科学技術協力協定が締結されている)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築するため、日米間を始めとする二国間協力や、多国間協力、アジアにおける科学技術協力、科学技術協力協定に基づく活動を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係の構築を行うため、具体的には以下の4つの取組みを実施。 ○国際科学技術協力 日米間をはじめとする二国間や、多国間の科学技術協力を推進するため、関係各国等の政策担当者と科学技術の分野における協力のあり方等について協議を実施。 ○アジア科学技術協力 アジア諸国との重層的な協力関係の構築を行うため、ASEAN科学技術協力委員会等により関係各国等の政策担当者と科学技術の分野における協力のあり方等について協議を実施。 ○科学技術の国際協力の総合的推進 科学技術協力協定締結各国と今後の科学技術協力の具体的な進め方等について意見交換を実施するためのワークショップの開催等を実施。 ○科学技術関連国際会議等出席 科学技術協力協定締結各国と今後の科学技術協力の具体的な進め方等について協議するため、専門的な知識が必要な政府間の会議へ大学等研究機関の優れた研究者を派遣。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	123	121	118	—	—	—
		補正予算	0	0	0	—	—	—
		繰越し等	0	0	0	—	—	—
		計	122	121	118	—	—	—
	執行額	110	92	80	—	—	—	
	執行率(%)	89.8%	75.7%	67.2%	—	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築するため、日米間を始めとする二国間協力や、多国間協力、アジアにおける科学技術協力、科学技術協力協定に基づく活動を推進することを目的としているため、定量的な指標による評価になじまない。		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	国際会合等への専門家・行政職員等派遣人数(我が国及び国際的な情勢を判断しながら、派遣の可否を検討するため、あらかじめ見込みを立てることは不可能である。)		活動実績(当初見込み)	人	184	170	149	— ()
	外国人専門家等招へい人数(滞在費支援のみの場合も含む)(我が国及び国際的な情勢を判断しながら、派遣の可否を検討するため、あらかじめ見込みを立てることは不可能である。)		活動実績(当初見込み)	人	10	28	11	— ()
単位当たりコスト	0.46 0.36	(百万円/派遣者) (百万円/招へい者)	算出根拠	インプット(派遣執行額):69百万円 アウトプット(派遣人数):149人 インプット(招へい執行額):4百万円 アウトプット(招へい人数):11人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、本事業を平成22年度限りでいったん廃止した上で、平成23年度は外国関係旅費に係る積算を見直して予算を縮減しつつ、国内外で行う調査、意見交換、議論、協議等に必要な事務に係る経費を「科学技術国際活動の推進事務費」へ整理統合した。</p> <p>また、引き続き廉価な航空券購入の工夫等により効率化に努め、適切な旅費の執行を行うこととした。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
		平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

【A】

文部科学省
(80百万円)

科学・技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係の構築を行うため、国際科学技術協力、アジア科学技術協力、科学技術の国際協力の総合的推進、科学技術関連国際会議等出席を実施。

外国旅費	32	百万円
在外研究員等旅費	40	百万円
外国人招へい旅費	3	百万円
庁費	3	百万円
招へい外国人滞在費	2	百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
在外研究員 等旅費	専門家等を派遣するための旅費	40			
外国旅費	行政職員等を派遣するための旅費	32			
庁費	雑費等	3			
外国人招へ い旅費	外国人を招へいするための旅費	3			
招へい外国 人滞在費	招へいした外国人の滞在費	2			
計		80	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)